

泌 尿 器 科

1 教育目標

(1) 一般目標

我が国における高齢者人口の急速な増加に伴い、前立腺癌をはじめとする尿路性器悪性腫瘍や尿失禁などの排尿障害患者の増加が顕著となり、泌尿器科領域の研修は専門医をめざす医師のみならずプライマリケアや他科をめざす医師にとってもますます重要となっている。

医療チームの一員として必要な基本姿勢・態度および、日常診療でよく遭遇する泌尿器科疾患に適切な対応ができるよう、基本的な泌尿器科診療能力を習得させることを目標とする。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 患者および診療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 尿検査，超音波検査，膀胱機能検査，各種画像検査の意味を理解することができる。
2. 膀胱鏡検査，逆行性尿路造影検査の適応を理解することができる。
3. 前立腺生検や体外衝撃波結石破碎術や手術適応に関して理解し，病態を把握することができる。
4. 実際の患者さん，疾患より得られる所見，病態を，忘れない知識として習得する。

【クリニカル・クラークシップB】

5. 排尿障害，尿路結石，尿路感染症等の病態を理解し，治療法を説明することができる。
6. 泌尿器悪性腫瘍の病態を理解し，治療法を説明することができる。
7. それぞれの手術の目的を理解し，治療方針の立案ができる

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 膀胱・前立腺・腎における形態学的評価ができる。
2. 内視鏡手術の手術助手を経験するとともに周術期管理ができる。
3. 各種カテーテルの知識を習得し，留置することができる。

【クリニカル・クラークシップB】

4. 膀胱・前立腺・腎における超音波検査を行い，病態評価ができる。
5. 内視鏡手術や腹腔鏡手術やロボット手術の助手を経験するとともに周術期管理ができる。
6. 前立腺生検や泌尿器科透視検査，手術において，助手を経験する。

2 実習要領

(1) 準備

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 病院には疾患があるのではなく，苦しみをもった患者がいることを絶えず念頭におくこと。
『クリニカル・クラークシップの手引』冒頭部分を熟読し，服装，態度，言葉使いなどに十分気をつけること。
2. 予定表に従って行動する。

3. 担当患者については、担当医の一員としての意識を持って毎日、担当患者の状態や検査結果・治療方針などについて、上級医・指導医とディスカッションを行う。
4. 外来診療については、見学あるいは問診の機会を設ける。

【クリニカル・クラークシップB】

5. 月曜日の症例検討会では、担当患者について3～5分程度でプレゼンテーションを行い、討論に参加する。
6. 自分の担当患者について、クリニカル・クラークシップの診療グループ内で討論し、お互いに知識のフィードバックを行う。

(2) 集合場所

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

泌尿器科医局、手荷物（貴重品を除く）は病棟のロッカーに置くこと。
変更は担当指導医がその都度指示する。

(3) 集合時間

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

8:30（初日は09:00に泌尿器科医局に集合）

(4) 担当指導医

【クリニカル・クラークシップA】

医局員全員もしくは担当医で指導にあたる。

【クリニカル・クラークシップB】

診療グループチームに振り分けし、その診療グループチーム医が指導する。

(5) 実習補助票

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

実習初日のカンファレンス時に配布する。実習終了時まで所定の事項を記入する。

(6) 実習出席票

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

実習終了時に担当指導医のサインをもらう。

実習終了時に上記の実習補助票とともに泌尿器科医局（D棟5階）へ提出する。

3 実習の評価方法

実習中の知識、態度、技能、英語論文抄読などで総合判定する。

クリニカル・クラークシップBの科別OSCEに関しては、超音波実習における実技評価、ならびにプレゼンテーションの時間に臨床症例を提示して、口頭試問形式で評価を行う。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職名	教員名	
教授	佐々 直人	
准教授	馬嶋 剛	
助教	梶川 圭史	村松 知昭
	黒須 春香	山際 将

5 連絡先

場所（内線）	泌尿器科医局（22145）
	7B病棟（32700）、泌尿器科外来（35700）
E-mail	uro@aichi-med-u.ac.jp

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	9:00 医局集合 オリエンテーション (担当症例振り分け) 9:30 症例確認、病棟挨拶	医局秘書 和泉阿希 佐久間昭成	医局 D棟 5F 7B 病棟	13:30 透視室検査 (集合時間は午前中に確認) 16:00 エコー実習 17:00 泌尿器科カンファレンス 担当症例確認	西垣将旭 村松知昭 佐々直人 全医局員	1階 透視検査室 2階 24番 泌尿器外来 7B カンファレンス
火	08:30 手術室集合 ※月曜が祝日の場合 09:00 オリエンテーション 担当症例振り分け	佐々直人 馬嶋 剛 梶川圭史 医局秘書	手術室 医局 D棟 5F	手術参加	佐々直人 馬嶋 剛 梶川圭史	手術室
水	08:30 GICU 病棟集合 術後患者回診	佐藤 翔一 山際 将	GICU	13:00 透視室検査 16:00 腹腔鏡ドライボックス実習	山際 将 週替わりや まぎ	1階 透視検査室 医局
木	08:30 手術室集合, 手術参加	馬嶋 剛 梶川圭史	手術室	手術参加 16:30 症例プレゼンテーション	馬嶋 剛 梶川圭史 佐々直人	手術室 医局
金	08:30 手術室集合, 手術参加	佐々直人 村松知昭 山際 将	手術室	手術参加 出席表, プレゼンデータの提出	佐々直人 村松知昭 山際 将 医局秘書	手術室 医局

※ 手術室集合時間：入室時刻

※ 実習内容・時間は変動します。診療グループチーム医の指示を仰いでください。

※ 各日の実習終了時、翌朝の集合時間・場所を診療グループチーム医に再確認してください。

7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

基本的には**診療グループチームの一員**としての指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	9:00 医局集合 オリエンテーション (担当症例振り分け) 診療グループチーム医と合流 課題確認 村松 G→佐久間昭成 黒須 G→和泉阿希 山際 G→増森太綺	医局秘書	医局	グループチーム指示 ※毎日、翌日のスケジュールをチ ーム医に確認すること 17:00 泌尿器科カンファレンス 担当症例のプレゼンテーショ ン	村松知昭 黒須春香 山際 将 佐々直人 全医局員	 7B カンファレンス
火	手術参加 ※初回月曜が祝日の場合 09:00 オリエンテーション 担当症例振り分け	チーム医 医局秘書	手術参加 医局	手術参加	チーム医	手術室
水	08:30 回診, 外来見学 (チーム医の指示)	チーム医		13:00 手術見学 16:00 OSCE 実習、課題確認	佐々直人 西垣将旭	
木	08:30 手術参加	チーム医	手術室	手術参加 16:30 クリクラ A と合同カンファ	チーム医 佐々直人	手術室 医局
金	08:30 手術参加	チーム医	手術室	手術参加 出席表, プレゼンデータの提出	チーム医 医局秘書	手術室 医局

※ **手術室集合時間：入室時刻**

※ **実習内容・時間は変動します。診療グループチーム医の指示を仰いでください。**

※ **各日の実習終了時，翌朝の集合時間・場所を診療グループチーム医に再確認してください。**

※ **2週間毎で課題確認と OSCE 実習を水曜日 pm に行います。**